

## インドネシアの音楽

インドネシアの音楽と言えば、バリのガムランが有名です。しかしこのような古典音楽以外にもインドネシアは大衆音楽が大変盛んな国でもあります。

まだまだ日本では認知度の低いインドネシアの音楽ですが、インターネットの普及もあり最近では日本でもインドネシアの音楽に直に接することができます。

今回はインドネシアの音楽についてお話します。

### ●ダンドウッドとロマ・イラマ

インドネシアの大衆音楽にダンドウッドというジャンルがあります。

このダンドウッドとはロマ・イラマというアーティストが、1960年代～1970年代にインド映画の音楽、アラブの音楽、欧米のロックの要素などをミックスし作り上げたインドネシア音楽のスタイルです。

このダンドウッドの言葉の由来は“クンダン”というインドネシアの楽器の奏でる“ダン、ドウッ、ダン、ドウ”という音から来ているようです。

当時、インドネシアにおける大衆音楽は単に人々を楽しませるだけのものではなく、人々にメッセージを届ける手段としての側面も併せもっていました。

250曲以上に上るロマ・イラマの曲ですが、その中で根本的なテーマとなっているものが“格差問題”です。

ロマ・イラマは当時の大衆が最も疑問を抱いていた貧富の差、格差問題を歌うことで、曲を通して、大衆を励まし、勇気づけたのです。そのため、ダンドウッドは大衆、特に村落部の住民の間で人気を博しました。その結果、ロマ・イラマは“ダンドウッドの王様”と呼ばれるまでになりました。

ダンドウッドは1980年を頂点にどちらかというと下火になってきた印象ではありますが、ポップスのアーティスト達がダンドウッドを歌うなど、当時根強かった低所得者の音楽というイメージを脱し、ダンドウッドはインドネシアを代表する音楽のジャンルとして、確かな地位を確立しています。

### ●イワン・ファルス

インドネシアのアーティストとして、よく名前が挙がるのがこのイワン・ファルスです。1970年代後半から現在に至るまで、社会派シンガーとして活躍しているインドネシアを代表する国民的アーティストです。

1970年代ジャカルタでストリート・ミュージシャンとして活動を開始して以降、数々の反体制ソングをリリースしましたが、それらの歌詞は内容の過激さから権力を脅かし、暴動を起こしかねないものと見なされ、発禁、ライブ禁止、またイワン自身も投獄されるなどの措置が取られました。

近年では当時のような、過激な曲のリリースが見られないため、残念がる声も上がっていますが、それでも大衆の気持ち代弁する曲の数々により、現在に至るまで熱狂的なファンを生み続けています。

### ●インドネシアポップス

インドネシアでもポップスは一定のマーケットを形成しており、ターゲットにしているのはやはり子供や若者などの若年層です。

90年代半ばからはラップ、R&B、テクノミュージックなど、国際的なジャンルが伸びてきていますし、ロックミュージックやジャズもジャンルとして定着しています。

曲調や歌詞の内容は洋楽を模したようなものも多々ありますが、インドネシア独自のポップス、例えば地方語や伝統音楽の諸要素をポップスに取り入れた、ポップ・ジャワ、ポップ・スندا、ポップ・バタックなどもあります。

2000年ごろはインドネシアで音楽を聴く際はカセットテープが主流でした。平均的な月収が1,2万円ほどのインドネシアの人々にとって、CDは決して安い買い物ではなかったためでしょう。海賊版CDが道端で安価で売られているのもよく見られました。

近年はインターネットからダウンロードして携帯電話やUSBメモリなどに保存して楽しむのが主流になってきている様です。

大衆音楽やポップスはインドネシアの世相を映し出す鏡といってもよいでしょう。人々の考えを理解する重要な手掛かりになるはずです。

## [参考]

### ●インドネシアの人気アーティスト例

- ・ Nissa Sabyan
- ・ Sule
- ・ Rossa
- ・ NOAH
- ・ Akad
- ・ Geisha
- ・ Iwan Fals
- ・ Slank
- ・ Turus
- ・ Agnes Monica

以上

### ★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク (PT. JC内) 概要★

所在地：Rukan Tanjung Mas Raya Blok B-1 No. 29

Jl. Raya Lenteng Agung, Tanjung Barat, Jagakarsa,  
Jakarta Selatan 12530 INDONESIA

デスク担当者：PT. JC 武井 和宏 (たけい かずひろ)

対象エリア：インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています(岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託)。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。岡山県産業企画課マーケティング推進室(電話 086-226-7365)までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応していません。